

あかあか

わが町、わが店、この道一筋。出会いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎0569-72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎0569-35-2861

企画・制作：株式会社新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525(代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

元氣のでてくる“ことばたち”

231

Nobuo Murakami



撮影・中川真理子

村上信夫

て育った。祖母からは悪口どころか、自分の苦労話も聞いたことがなかった。意外だったのは、そんな祖母に薫陶を受けた石川さんが一時期、男女は対等

たり、みんなに怒いといわれたりするようになって、みんなに女でしたね(笑)。「自分の弱さがたまらなく嫌で、もっと強くなるにはどうしたらいいんだろう」と悩んでいました。横道に逸れたり、迷い道に入ったりして、自分を探しあぐねていたときに、ふと祖母

たのだと思います。自分のすべてを受け入れることって大事ですね。石川さんは、祖母が怖いと思ったことは一度もなく、祖母の部屋に行つては、一緒に時代劇を見たり、いろんな話をしたりしていた。上の空で聞いていると祖母は話をやめてしまった。叱りもせず黙ってしまふ。「人の話は全身で聞くもの」といわれた。大事なことは、目に見えるものや耳に聞こえる向こう側にある」といわれた。感受性と経験と知識を総動員して耳を傾けるものだと、心を全開にして五感で聞くことが大切だと。

明日を案ずるより、今日を最後に生きよ

作家 石川 真理子さん

祖母から教わったたしなみ 話題作『女子の武士道』『女子の教養(たしなみ)』の著者、石川真理子さんは、米沢藩士の娘だった祖母から受けた教養を広く伝えていく。現代に生きる女性たちが忘れていくことを気づかせてくれている。

であるべきとするウーマンリブに傾倒していたことだ。「成長していくにつれ、うちってどこか違うんじゃないかと思うようになったんです。みんなと言葉遣いも違うので、学校ではブリッとかかわられて浮いていましたしね(笑)。そして高校時代に、男女雇用機会均等法が施行され、男性を超えてのし上がっていく女性にそこが抱くようになり

の佇まいが蘇ってきた。自分の情けなきに比べ、祖母の姿そのものに、腹の据わり方の違いが見えてきた。大人になってから、改めて祖母の強さがわかり、まるで再会したような感じだった。

生きていく心づもり 石川さんは「自分はどう生きるべきかと、小さいときから考えて続いていた。祖母が、毎朝『今日も命がありましたね』と言っていたせいかもしれない。七歳のある日、「私は、いつか死んでいなくなるんだ。いつか死ぬのに、なんのために生きているんだろう」という思いが突然降りてきて、雷に打たれたようなショックを受けたのが始まりだ。

「はい」という返事の仕方であなたのすべてがわかるといわれた。背筋を伸ばし、よい顔をして、気持ちのいい返事やきちんとした言葉遣いをするのが基本中の基本だ。普段のおじぎは15度、目上の方への挨拶を申し上げるときは45度、神様をお参りするときは90度、神様をお参りするときは90度。自分の中にも神様が宿っています。神社のお社には鏡があるでしょう。お参りして鏡に映るのは自分で、90度のおじぎをするのは自分を大事にする気持ちの第一歩ともいえます」

「そんな自分に厳しくしなくても思われるかもしれませんが、自分が大事だからこそ厳しく律していく必要があるんです。それで自分が磨かれていくのですから」。よくない言葉は自分の心を汚すものなので、悪口は絶対にいってはいけないといわれ

「祖母もやはり弱い人間だったような気がしますが、自分の弱さをきちんとわきまえていて、そういう自分を丸ごと受け入れていたのでしょう。そして弱い自分を律してき

「まだ迷いはありますが、四〇代になってから、人間は一生、迷い続けていくもので、弱いながらも一生を誠実に生きるしかない」と思うようになった。「人と比べる心は自分を苦しめます。昔は武士も商人も分をわきまえていて、それは人と比べない幸せな生き方につながりました。人生は前に進むしかないのです、少なくとも自分は昨日より進歩していると思うことが大切です」。



俳画/イネ・セイミ

「明日を案ずるより、今日を最後に生きよ」という祖母のことばが、石川さんのいちばんの支えになった。武士は一所懸命、ひと所に命をかけました。いつ終わるかわからない人生をよくしようと思つたら、いまを一所懸命生きるしかないです」。

石川さんは、生きていく心づもりを伝えていく。

心づもりとは、先人の魂を敬い、未来の人のために祈りながら、今を真摯に生きる。それが女子に限らず、人としての教養(たしなみ)だ。人からどう見られるかはどうでもいいこと。人にこうあるべきとも求めないこと。要は、自分がどうあるべきかを意識すればいいのだ。しかしながら、そう考える人は少なくなつた。自分を棚上げし、他人を否定批評する人が横行している。日本人が大切に育んできた「和の心」が揺らいでいる。だからこそ、今、先人の遺伝子を次世代に受け継がねばならないのだ。共感することの多い、実り多い対談だった。

好評発売中

イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(俳)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

ところ 常滑屋
とき 俳画教室月一回 午後一時三十分～三時三十分
会費 一回 二、二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九三三五〇四七〇

インディアンフルート教室 開講しています。

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンミュージシャン。

受講生募集!!

会場 マツイン楽器店 ミュージックガーデン武豊 開講小曜日(月2回) 10:00~11:00
形態 グループ
料金 1ヶ月8,802円(入会金5,400円)
詳しくはマツイン楽器店本社 教室係まで
フリーダイヤル:0120-37-5576

講師 イネ・セイミ
(日本インディアンフルートサークル協会ディレクター)
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音はやさしく心に響きます。レッスン30分4,000円 会場:半田市潮干町1番地の21
申込先 0569-89-7127
お問い合わせ ine.seimi.jp@gmail.com

私の出会った作品 (19) 杉本武之

『溝口健二』

『近松物語』

『溝口監督の映画との出会い』

先日、久しぶりに新藤兼人著『ある映画監督 溝口健二』と『日本映画』(岩波新書)を読み直しました。

この本は、昭和51年(1976)4月に出版されました。すぐに購入して、その日のうちに『近松物語』を読み直しました。本当に面白く思いました。

どのページからも、映画に打ち込む一人の監督の情熱いや狂気が伝わってきました。その小柄な監督がいると、撮影現場に融和とか常識とかいう温かな空気は流れなくなりました。緊張感が漂い、息もできないほどでした。その斬る斬られるかの戦いの場で、妥協を知らない監督は、全ての俳優やスタッフに対して無理難題を吹かけ、自分の思い描いたシーンを何とかがして撮ろうとしました。もはや自分のことしか頭にありません。

この監督は一度スタジオに入ると、昼食時にも外に出ません。徐々にならされてきた雰囲気の中に浸っていたのです。セットから外へ出て小用をしなくなり、いつも漫然が用意されていました。

演技指導をしない監督でした。俳優だから自分で考えて演じなさい。それでお金を貰っているのです。こう冷たく言いつつ、俳優が身に纏っている偽装を剥ぎ取り丸裸の真人の人間になって行くまで絞りこみ続けました。

この情け容赦もない映画監督が、あの『西鶴一代女』『雨月物語』『山椒太夫』『近松物語』などの珠玉の名作を作り上げた世界の巨匠・溝口健二だったのです。

溝口健二は明治31年(1898)5月16日、東京で生まれました。生涯で85本の映画を作りました。

享年58。彼が死んだ時、私は17歳の高校生でした。年齢差が大きかったために、彼の作品を封切りの時に映画館で観たのはたった1本だけです。中学3年生の時に、学校から『山椒太夫』も学校から観に行きました。

映画が好きだったので、私は、家族と共に、または一人でよく映画を観ていました。映画界全盛の時期で、市内に映画館が3つありました。

『二十四の瞳』を観た年、つまり昭和29年は、1950年代の『日本映画の黄金時代』においても、特に光り輝いていた年でした。『山椒太夫』『二十四の瞳』が生み出されたばかりではありません。世界で映画史上最高の傑作と評価されている黒澤明の『七人の侍』が作られた記念すべき年でもありました。溝口健二の『近松物語』もこの年の作品です。

中学生の私が『山椒太夫』や『二十四の瞳』を観た年、つまり昭和29年は、1950年代の『日本映画の黄金時代』においても、特に光り輝いていた年でした。『山椒太夫』『二十四の瞳』が生み出されたばかりではありません。世界で映画史上最高の傑作と評価されている黒澤明の『七人の侍』が作られた記念すべき年でもありました。溝口健二の『近松物語』もこの年の作品です。

私が大学生になり映画部に入った時には、もう溝口健二は生きていませんでした。彼が生産した85本の映画のうち、私が観たのはわずか11本です。年代順に列挙します。歌麿をめぐる五人の女(昭和21年)『雪天夫人』(昭和25年)『お遊さま』(昭和26年)『武蔵野夫人』(昭和26年)『西鶴一代女』(昭和27年)『雨月物語』(昭和28年)『祇園囃子』(昭和28年)『山椒太夫』(昭和29年)『近松物語』(昭和30年)『新・平家物語』(昭和30年)『赤線地帯』(昭和31年)です。私が生まれる前に作られた『滝の白糸』『浪花恋』『祇園の姉妹』や、幼児時代に作られた『浪花女』『元禄忠臣蔵』などの作品は観ていません。

私が観た溝口の作品の中からベスト5を選べば、好きなら『近松物語』『山椒太夫』『祇園囃子』『雨月物語』『西鶴一代女』となります。

『近松物語』 今まで観てきた数多くの日本映画の中で、最も芸術の香りを放っている作品は溝口健二の『近松物語』です。最も映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。

近松門左衛門の『大経師昔暦』と井原西鶴の『好色五人女』の第3話は、同じ実話を取り扱っています。大経師の御内儀・おさんと手代・茂兵衛の悲恋物語です。近松の作品は少なくないが、その力強く、戦慄させるような美の世界を描きながら、さまざまに傷のあるところが、この『近松物語』は、そうした破綻がまったくない完成度を持つ。『近松物語』は、そうした破綻がまったくない完成度を持つ。『近松物語』は、そうした破綻がまったくない完成度を持つ。

おさんを演じたのは香川京子でした。2作前の『山椒太夫』で安寿の役を好演していた。『近松物語』は、不運にも受賞とは縁がありませんでした。

国内では、その年の『キネマ旬報』ベストテン選出で5位に甘んじました。1位が木下恵介『二十四の瞳』、2位が同監督『女の園』、3位が黒澤明『七人の侍』でした。また国外では、カンヌ映画祭に出品され、本命視されていました。ところが、大映社長の永田雅之が「信用できない」と暴言を吐いたため、映画祭当局が激しく怒りました。結局、日本代表団は永田雅之がプロデュースした『近松物語』を正式参加作品から外してしまいました。不運な名作と言えるでしょう。



近松物語

25歳の時に処女作『愛に甦る日』を作り、58歳の時に遺作『赤線地帯』を作りました。そして、昭和31年(1956)8月24日、京都府立病院で血液の方である骨髄性白血病で死去しました。木下恵介の『二十四の瞳』を観た年、つまり昭和29年は、1950年代の『日本映画の黄金時代』においても、特に光り輝いていた年でした。『山椒太夫』『二十四の瞳』が生み出されたばかりではありません。世界で映画史上最高の傑作と評価されている黒澤明の『七人の侍』が作られた記念すべき年でもありました。溝口健二の『近松物語』もこの年の作品です。

大夫(昭和29年)『近松物語』(昭和29年)『新・平家物語』(昭和30年)『赤線地帯』(昭和31年)です。私が生まれる前に作られた『滝の白糸』『浪花恋』『祇園の姉妹』や、幼児時代に作られた『浪花女』『元禄忠臣蔵』などの作品は観ていません。

私が観た溝口の作品の中からベスト5を選べば、好きなら『近松物語』『山椒太夫』『祇園囃子』『雨月物語』『西鶴一代女』となります。

『近松物語』 今まで観てきた数多くの日本映画の中で、最も芸術の香りを放っている作品は溝口健二の『近松物語』です。最も映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。

近松門左衛門の『大経師昔暦』と井原西鶴の『好色五人女』の第3話は、同じ実話を取り扱っています。大経師の御内儀・おさんと手代・茂兵衛の悲恋物語です。近松の作品は少なくないが、その力強く、戦慄させるような美の世界を描きながら、さまざまに傷のあるところが、この『近松物語』は、そうした破綻がまったくない完成度を持つ。『近松物語』は、そうした破綻がまったくない完成度を持つ。

おさんを演じたのは香川京子でした。2作前の『山椒太夫』で安寿の役を好演していた。『近松物語』は、不運にも受賞とは縁がありませんでした。

国内では、その年の『キネマ旬報』ベストテン選出で5位に甘んじました。1位が木下恵介『二十四の瞳』、2位が同監督『女の園』、3位が黒澤明『七人の侍』でした。また国外では、カンヌ映画祭に出品され、本命視されていました。ところが、大映社長の永田雅之が「信用できない」と暴言を吐いたため、映画祭当局が激しく怒りました。結局、日本代表団は永田雅之がプロデュースした『近松物語』を正式参加作品から外してしまいました。不運な名作と言えるでしょう。

この指とまれ (262) 氏原朝信

昭和52年度 四年三組の学級通信「なかよし」

天声人語から 80歳すぎの一人暮らしのおばあさんがたくさんの足袋を根気よく縫っていた。もうすでに何度も縫いをかき替えた古足袋ばかりだった。いくら縫ってももうはけないのではと人言われ、おばあさんは笑って応えた。「これはもう、いくら私でもはけません。でも長い間お世話になった足袋ばかりです。破れたまま捨てるのが何だか申し訳ない気がいたします。こうして洗い繕いをしてから捨てるのです。」(略)これは、2月26日朝日新聞の天声人語

や自分のことしか頭にありません。この監督は一度スタジオに入ると、昼食時にも外に出ません。徐々にならされてきた雰囲気の中に浸っていたのです。セットから外へ出て小用をしなくなり、いつも漫然が用意されていました。

演技指導をしない監督でした。俳優だから自分で考えて演じなさい。それでお金を貰っているのです。こう冷たく言いつつ、俳優が身に纏っている偽装を剥ぎ取り丸裸の真人の人間になって行くまで絞りこみ続けました。

この情け容赦もない映画監督が、あの『西鶴一代女』『雨月物語』『山椒太夫』『近松物語』などの珠玉の名作を作り上げた世界の巨匠・溝口健二だったのです。



大曾公園の遊具に集まった子どもたち

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

手づくり ショウガの黄金糖

明けましておめでとうございます。
お風邪などお召しになられてませんか?
今年の目標は「健康第一」
毎日これをひとつ食べて体を温めて下さい♡

材料 (500ccの容器1瓶分)
①生 姜……500g
②酢……大さじ2×2～3回分
③上白糖……250g

作り方

- ①を皮つきで2～3mmにスライスする。大きい場合は半分に切る。
- 沸騰したたっぷりの湯を鍋に用意し①を入れ②も加え沸騰させる(25～30分)火を止め→湯をすてる。この作業を2～3回繰り返す。
- ②を水につけて一晩寝かす。(寒い部屋が良い)
- ③をよく洗い皮などがついていない様にする。
- 大きめのフライパンか厚手の鍋に④を入れ③も加えて強火で煮る。水分がたっぷり出るのでしっかりと水分をとばす。
- 水分がなくなると砂糖の泡がたくさん出てくる。砂糖が黄金色になってきたら、しっかり木ベラで混ぜあわせる。
- 鍋ぶちが乾いてきたら手早く混ぜて、白くなってきたら火をとめて空気を含まないように、白い衣をまぶした様に変化する。(水分がまだ出てくる、もしくはあめのべたべたが残っている様なら、再度火にかけて水分をとばす→⑥にもどる事)
- しっかりと冷やして、清潔な密閉容器に入れて冷蔵保存する。

常滑市民文化会館

▼平成三十年常滑市成人式(七日) 開場 午前八時 開演 午前十一時(午後一時) 関係者のみ
▼常滑市小中学校書写作品展(十八日) 午後七時(最終日同三時まで) 第一展示室 問合せ 常滑市立小鈴谷小学校 0221(機材) 3710221(機材)
▼平成二十九年、かがやき展(十八日) 午後三時(最終日同三時まで) 第二展示室 問合せ 常滑市立鬼崎北小学校 0222(藤木) 420222(藤木)

常滑市立図書館

▼常滑市立図書館新春書展(書、篆刻、刻字・五日) 14日(日)
▼常滑市立図書館新春書展(油絵・十六日) 25日(日)

海洲鬼会展(書) 二十六日(日) 二月六日(日)
▼企画展「大野の森資料館」 二月十八日(日)
▼企画展「大野の森研究所」 二月十八日(日)
▼常滑の急須展「近世から近代の様相」 二月二十五日(日)

常滑市体育館

▼愛知県公立高校選抜ソフトテニス大会 五日(日)
▼全知多中学生ソフトテニス大会 六日(日)
▼全知多中学生ソフトテニス大会 七日(日)
▼全国高等学校選抜卓球大会 愛知県予選会 八日(月・祝)

常滑市立図書館

▼常滑市立図書館新春書展(書、篆刻、刻字・五日) 14日(日)
▼常滑市立図書館新春書展(油絵・十六日) 25日(日)

愛知県高等学校新人体育大会バスケットボール競技知多支部予選会 二十日(日)

『近松物語』 今まで観てきた数多くの日本映画の中で、最も芸術の香りを放っている作品は溝口健二の『近松物語』です。最も映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。映画らしい痛快極まりない作品は黒澤明の『七人の侍』です。

おさんを演じたのは香川京子でした。2作前の『山椒太夫』で安寿の役を好演していた。『近松物語』は、不運にも受賞とは縁がありませんでした。

国内では、その年の『キネマ旬報』ベストテン選出で5位に甘んじました。1位が木下恵介『二十四の瞳』、2位が同監督『女の園』、3位が黒澤明『七人の侍』でした。また国外では、カンヌ映画祭に出品され、本命視されていました。ところが、大映社長の永田雅之が「信用できない」と暴言を吐いたため、映画祭当局が激しく怒りました。結局、日本代表団は永田雅之がプロデュースした『近松物語』を正式参加作品から外してしまいました。不運な名作と言えるでしょう。



杉本武之プロフィール

杉本武之(1939年、青南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。『趣味』読書と競馬)

誠意をこめて安心のお手頃
年中無休・24時間体制

(有)大阪屋葬祭

常滑ホール / 鬼崎ホール / 阿久比ホール

TEL:0569-35-4949 (代表)
FAX 35-4911

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊2ツ峯380
TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (81) 岡田 清治

姪の就職2

とにかく前立腺がんと聞いただけで、実弟のことを思い出して恐怖感に襲われる。さっそく病院の泌尿器科に出かけた。おしっこを紙コップ採って待合室で待った。泌尿器科は圧倒的に高齢者が多い。

エコーの検査もその日、受けた。「確かに数値は昨年の3・23から上がっていますね。PSA値の経過観察しながらでもいいですが、それでは気になるでしょうね」

「私は気にする性格ですので、精密検査をしてください」
「それでは後日、MRI検査を受けてください」

MRI検査は以前、脳ドックで受けたことがあったが、前立腺がんでは頭でなく体の違いはあっても同じ設備を使う。この検査は箱舟のところに横になって20分ほどで検査は終わる。

七月三日に人間ドックを受け、七月二五日にMRI検査、そして約1ヶ月後の七月三〇日午後一時からM医師の検査結果についての所見を聞いた。

「はつきりがんだとは言えませんが、だからと言って完全にセーフだとも言えません。あとは組織を取って生検しないとわかりません。生検は二泊三日の検査入院となります」

「入院日は後日、電話でお知らせしますが、希望はありますか。部屋についてはあとで入院の窓口で確認してください」

「お盆前だとありがたいのですが…」
「できるだけご希望にそうようにはしますが、空き部屋の関係からご希望にそえないこともありえます」
「わかりました」

このお盆に東京にいる息子夫婦が帰省するのと、ロンドン大学の若い日本人研究者が帰国、拙宅に戦前の皇室技芸員(陶器分野の第一号)である清風与平が真三の父方の祖母の父親、つまり真三の義理の曾祖父にあたるこの話を聞かされた、会いたいという依頼を受けた。このため、できればお盆前が良かったのである。

病院から検査入院は八月の一三日、二五日と決まった。部屋は個室(地元民は室料1日5、250円、市外だと7、350円)の希望を出したが、特別室B(同10、500円、同14、700円)しか空いていないが、いいですかと電話してきた。日程を優先したので了解した。

息子が仕事の関係で来られなくなったというので、我々が東京に二泊三日で出かけた。JRジパング倶楽部の会員なので三割引と安い、帰りの一日月曜日はお盆にかり割り引きかないという。ロンドン大学の客は訪問日が八月一七日の日曜日になると連絡してきた。

検査入院前後が結構、忙しかった。七月一八日友人、七月二四日学友と夜、会食した。ビール(糖質ゼロの発泡酒)は毎日、飲んでる。友人たちとは一献傾けるので、ビール中ジョッキ十焼酎のお湯割四、五杯を飲んでる。ただ、実弟の嫁、裕美から募りの誘いがあつたが、検査日と重なるために実現しなかった。実弟と同じ病名だと言えなかった。

入院は午前十一時に入院受付で書類を提出して部屋

に案内される。女房は検査だから大部屋でいいのにと文句を言ったが、私は個室を強く希望した。四〇代のころマイコプラズマ(肺炎の一種)で入院したときは、大部屋だったが、そのうちの親しくしていた高齢の方が亡くなったとき、ショックを受けた経験があつた。そのことでどうしても個室にこだわり、結局、特別室に入ることにしたので不要な出費で頭にくていた。



【写真】いまでも秋の祭りにぎやか(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-3477971
メール: takamis@akai-shinbun.net



■プロフィール
著者・岡田清治(おかだせいじ)
一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集プロダクションNET108代表)
著書に『高野山開創二百年 いっばんさん行状記』『心の遺言』『あなた社員は全能力を引き出せますか!』『リヨンで見た虹』など多数

入院の提出書類に誓約書があつた。最近世論がきびしいため、病院側も検査、手術前に誓約書を取って防衛するようになった。今回の検査では脊髄麻酔を打って下半身を麻痺させるからである。脊髄麻酔でたまに体に不調がきたし半身不随の事故が報告されている。麻酔が患者の体質に合わないこともある。

この検査は翌日の一四日午後二時三〇分からであった。前日は部屋で普段通りの生活ができたが、ベッドに横たわり静かに過ごした。時あたかも東京オリンピックの最中であつた。特別室の液晶TVを無料で見られた。冷蔵庫も備えてあつた。風呂、シャワーもある。水分補給をするため、ペットボトル三本院内売店で買って入れた。

女房が部屋にきたときも、備付の長いすで周囲に気兼ねせず話せたので、特別室でよかったと話した。大きなタオルと十字パットは病院の売店で買った。この日は風呂に入った。
翌日、朝からM医師の回診があり、手術の手順をてぎわよく話した。
「尿道に管を入れ、前立腺から組織を二〇箇所から採ります。その間は二〇〜三〇分です」
「痛くないですか」
「麻酔を打っていますので痛みありません。安心してください」

実弟が「前立腺の左右の計六カ所から組織を取られた。痛みを感じることもなく終わり、ほっとしていたら、尿道に管を入れて膀胱を調べる検査が行われた。これは言いようのない激痛を伴い気絶するのではないかと思つたほどだ」と、書いているので心配であつた。
私の場合は一〇箇所から採ると言われていた。
看護師が流腸をお尻に差し込んだ。一分ほどがまんしてから排便するように言われたが、五六分しか持ちこたえず、トイレに急行した。こういふとき、個室は楽だ。絶食のため点滴が取り付けられた。
午後二時三〇過ぎ、ベッドのまま六階の手術室に運ばれた。

手術室入口には、四、五人の美人看護師が出迎えてくれた。そのなかのとびつきり美人の看護師が「わたしたちがお手伝いします。ご安心して検査を受けてください」と話した。
あまりの美人に下半身を見られると思うと恥ずかし、どうしようもない気持ちになった。もう、どうでもいいやという半ば、開き直りの心境だったが、そのうち目を閉じて覚悟した。やがてベッドは手術室のベッドに寝たまま移された。

座つた状態で脊髄から麻酔が打たれた。
「痛みありませんか」
「なんとか、大丈夫です」
やがて三人の医師とときどき美人看護師がベッドを取り囲みながら組織の採取作業に入った。ほとんど痛みは感じない。
「これが組織です」
M担当医がビールに入ったミミりほどの組織を見せてくれた。

そうこうするうちに検査が終わり、元のベッドに移され部屋に戻った。尿管がついたままで、明日まではこれで用をたすという。このためベッドよこにビニール製の尿タンクがついている。腕には点滴タンク、陰部からは尿管が伸びていて、ほとんど動けない。ナースコールを押してエアコンを切ってもらい、眠りについた。
翌朝、尿管はずしにふたりの医師がやつてきた。
「痛みありませんか」
抜く瞬間は痛みを感じたが、耐えられる範囲であつた。これからはずれると、あとは点滴をふらさけてある鉄製の移動式吊具だけである。これだとエレベーターで二階まで朝刊を買いに行ける。朝食はチューブに入ったゼリー状のカロリーメイトであつた。これが結構、おいしかったので、あとで探したが売っていなかった。

おしっこをするとき、痛みを覚えた。しかも血の小便というよりも血そのものだった。はじめてのことで恐怖感に襲われた。看護師に聞くと「水分を十分、取ってください」という。やがて小便の色が赤から通常の黄色に変わった。その間、約一時間である。これですつかり安心した。M担当医の退院許可書が枕元の机に置いてあつたので、朝食を食べベタクシーで帰宅した。朝の二〇時である。表から入ると目立つので裏道に止めて、入った。

女房はあまりの速さに驚いていた。帰宅してすぐにパソコンの前に座り、メールの確認をした。しばらくすると首から肩がものすこし肩こりのようで辛抱できないほどになった。エアースプレーをかけた。鎮痛クリームを塗ったりするが、どうにも治まらない。しかたなくベッドに横になりしばらく休んでいると、元にもどつた。起きて動くとき再び、同じような症状に見舞われた。

検査を受けた方へという用紙に「時折、頭痛がありませんが、一週間もすれば消えます」とあつたが、これだと思ひ横になつては起き、痛みを覚えると再び横になった。四日目あたりから症状も消えた。まだ、前立腺がんは宣告されていないので、普通の生活を続け、悩みもほとんどない。だから東京にも行き、若い研究者を自宅に迎え飲談の時も過ごせた。

八月二〇日には恒例になつた某TV局の友人、ディレクターが制作、放映後、会食しながら意見を交わした。彼は第三者の意見を聞きたいこともあつて、いつも声をかけてくる。かつて店に来ていていまはTVの報道局に異動して活躍していた。お互いに気心が知れていたため、楽しいひとときを過ごせるという思いがあつた。
だんだんと運命の八月二十七日が迫ってくる。そしてその日がきた。気持ちの半分はセーフ、半分はアウトの状態であつた。

M医師が順番を告げる。
「よろしくお願ひします」
「…はつきりがんだといえます」
「そうですか」
次のことばを待った。
「骨への転移は見られませんが、前立腺の中におさまっています」

「五十路の果ての宿場町」

藤間 勘萃

旅人は雪兵竹の村雀

とまりてはたち とまりてはたち(泊まりては発ち)

柳家喬太郎は古典落語『竹の水仙』をこう締め括る。人は生まれながらに後の世への旅人だ。這っていたのがよちよち歩きになり、三十路から四十路へと駆け抜ける。そうこうして私も五十路の果ての宿場町(五十九歳)に辿り着いた。

旅はいつの頃からだったか、一人の芸人と出会い二人旅になった。“芸人”は、笠、風呂敷包み、手甲、股引、脚絆、草鞋…まるで江戸時代の旅装束を纏っていて、奇妙なほど私に面立ちが似ていた。



その演芸場は、観音さまの裏手にひっそりと佇んでいた。幕が上がると、出囃子を踊りながら登場した前座は小さな落語をし、京がたりのひいさまなる別嬪が紡ぐ古都の四季折々に西洋琵琶を添えた。ふと気付けば、前座は私の隣に座っていたはずの芸人だった。つづいて高座上がった歌川☆幸運は、東日本大震災で打ちのめされた造り酒屋が苦難の果てに立ち直るまでを、人情斬『浪江壽』に仕立て上げ、涙と笑いの1時間半を語り



寺の境内、木造の池の上に浮かんでゆっくりと回る舞台上、年老いたバツタが森の奥深くで色んなオバケたちと出会い、泣いたり、笑ったりしながら死と向き合う。『樂市楽座』は、たった親子三人だけで、歌い踊り、楽器の演奏もしながら諸国を巡っている野外劇団だ。食い入るように芝居を見て、嬉しそうに投げ銭をしていた芸人は、居ても立ってもおれずに回り舞台に「びよんっ」と飛び降り、京がたりのひいさまと古都の四季折々を紡いだ。芸人は「こいつあ参ったね、樂市楽座、ありやあ芸能の百貨店ですよ。あたしあ最賃にするぜいっ！いや、手本にさせてもらおう」と言った。

樂市楽座『小さなオバケたちの森』

六月十五日、大須・大光院にて。



きった。『3・11』、心に刻んでおかなければいけないことがあるのだ。「あたしあ嬉しいよ。何がっつてさ、あの演芸場、古今亭志ん朝(いよっ！昭和の名人)も高座に上がったってんでしょ？」帰道、芸人は、そのことで舞い上がった。三月二十六日、大須演芸場にて。



ある日のこと、芸人は「作曲家としてのあたしあ、名古屋音楽大学に産んでもらって、プロデューサー・竹内正美に育てられましてね、世界デザイン博テーマ館の音楽(1989年)という大役を任せ付かったのが初っ端で、その後はミュージカルでしょ、合唱と管弦楽の曲でしょ、短歌による歌曲集でしょ…竹内あにさんに書かせてもらった曲は数知れねえ、それが無くっちゃ日々の釜の蓋が開いていたか？どうか？」



ところで竹内あにさんてえ人はね、あたしの大好きなロックバンド『センチメンタル・シティー・ロマンス』の産みの親で、かの竹内まりやを芸の道へと口説いた人で、ファッションモデルで、外国製の真っ赤なスポーツカーで駆け抜けていた人で、テレビの朝の情報番組のメインキャスターであった人でね。なのに、全部「あらよっ」とばかりに放り出して、今じゃ小原村(豊田市の里山)で、築140年の古民家に暮らしているんでさあ。そんなことしますか？ふっつ」と捲し立てた。

ときどきLIVE『シヨアンシヨアン』にて。

五月二十七日、



朝からラヂオが「今日は7月下旬から8月上旬並の真夏日になります、熱中症にご注意下さい」と言っていた。「てやんでいっ、こちとら江戸っ子でいっ！」と言いつつ、おちよこちよいの芸人は、自転車を漕ぎ出して行った、止め

る間もない。五十路は、ときに、アトリエ(名古屋市中区金山)から出稽古先(稲沢市)まで片道1時間40分の自転車旅になる。五月の終わり

旅の途中に立ち寄る温泉は、風呂好きの私にとつての大きな楽しみだ。宿に着くなり一ツ風呂、一晩のうちに10回は入るのだから、露天風呂の付いた部屋を奮発したところで、なかに、バチも当たるまいよ。



この掌編映画シリーズは、お手元の映画館『YouTube』で、ひいさま×藤間勘萃を探していただくと、いつでもご覧になれます。

宿場町のはずれには一軒の映画館があった。ロビーの壁は薄汚れ、ビニール張りの長椅子の隅から黄色いスポンジがはみ出して、売店ではアイスクリームやらポテトチップスやらが売られていて、客席には便所の匂いが漂っている。そんな感じのする映画館だ。看板を見上げると：



夏休みになると何処からともなく集まってきてハロウィーンが終わる頃になると「すうっ」といなくなってしまいうラス楽団『アンサンブル・フレンズ』。

中学生と高校生の彼／彼女たちの大道芸（野外イベント）は、いつだって吹けや踊れやのご機嫌なダンス・パーティーだ。お調子者の「芸人」は、お扇子で踊りながら音楽の舵取り（指揮）をする。芸人は「人てえのあ、視覚72.6%、聴覚17.6%でもって感動するって誰かが言ってたよ。だから吹けや踊れやじゃなきゃいけねえ。とは言ってもさ、真夏の野外ステージ、ありや暑いよ、36℃37℃っていやあ人の体温だぜ？その昔、いたいな子どもらに大道芸をさせた『角兵衛獅子』てのがあったけど、あの子どもらときたら爺のあたしを…」と言いなからも眼を細めている。

八月五日、アスナル金山にて。
八月六日、名古屋市民会館大ホールにて。
八月十九日～二十日、広小路夏まつりにて。
十月十五日、滝川学区『親子ふれあいフェスタ』にて。
十月二十九日、栄キッズ・ハロウィーンにて。



いたいけなプラス楽団のご機嫌なステージは、お手元の映画館『YouTube』で、アンサンブルフレンズを探していただくと、いつでもご覧になれます。

毎週火曜よる7時頃から、千種駅から歩いてすぐの『自然の薬箱カフェ&キッチン』にて。



音楽する姿は在り来たりだ。街には、あまたの素人ミュージシャンが溢れ、夜ごとライブハウスやらカフェやらバーやらで音楽を披露している。そんな中で、「芸人」は『門付け芸』をしている。門付け芸とは、商家の軒先などで演ずる獅子舞や猿廻しや新内流のこと、芝居小屋、寄席、往來での大道芸と並んで江戸の町衆を楽しませていたものだ。

「芸人」の抱く夢は、決まって私を呆れさせるのだが、一昨年の秋、5/R音楽ホールの力添えで、夜7時から翌朝5時までパッハを弾き続ける『夜もすがらパッハ』という夢を叶えた時には心底たまった。

「クラシック音楽の演奏会にも、まるで寄席みてえに演者が入れ替わり立ち代わり舞台を彩る：なんてのがあると町衆が楽しめるぜ。」



でも、お楽しみはそれだけじゃあない。パンフレットに載ったクーポン券（ホールお膝もと千種駅界隈40軒近くの仲良しショップとのコラボ）を使って、オトナの夜遊び千種でみちくさができるのだ。コンサートはチケットの半券でもって入り自由、前半だけ楽しんで街に消えて行くもよし、中入りに軽く晩ご飯を食べに出るもよし、お仕事帰りに後半から楽しむもよし、もちろん全4幕の競演を通して楽しむもよし。何ともオツなコンサートがお目見えしたもんだ！

幕開けの日、4組分を一人で仰せつかった「芸人」は、『暮れがたパッハ』と題して、落語、西洋琵琶によるパッハ、日本舞踊そして京がたりのひいさまとの舞台を務めた。

「ことし年男でしてね」と言うと、「へえー、そうなんですわねえ」と気の無い相槌を打たれる。「いよいよもって還暦で」と続けると、「えっ！か、還暦？？」と仰天される。きつと私のことを、七十二歳になるものだと決めているのだ。

「クラシック音楽の演奏会にも、まるで寄席みてえに演者が入れ替わり立ち代わり舞台を彩る：なんてのがあると町衆が楽しめるぜ。」

「クラシック音楽の演奏会にも、まるで寄席みてえに演者が入れ替わり立ち代わり舞台を彩る：なんてのがあると町衆が楽しめるぜ。」

藤間勘萃 (柴信次)
ふじま かんすい

西洋琵琶でパッハを弾き唄ったり、長唄を踊ったり、今をパロックと江戸に生きる芸人。

- ▶ 楽師/日本舞踊家(宗家「藤間流」名執)としてNHK『日曜美術館』、養老孟司(東京大学名誉教授)との『以心伝心・以身伝心』、久田舜一郎(小鼓方、大倉流15代宗家)との『秋天の興』など、放送や舞台に数多く携わる。
- ▶ 作/編曲家として『世界デザイン博覧会』テーマ館、Toshi (X Japan) ミニ・アルバム『自分』、関西二期会オペラ『アメリカ舞踏会へ行く』など、オペラから演歌までを手掛ける。

1980：中部日本ギター協会『協会賞』
1982：名古屋音楽大学音楽学部作曲学科卒業
1984：日本ギタリスト会議『最優秀新人賞』
1984～2003、2008：日本福祉大学講師

「ことし年男でしてね」と言うと、「へえー、そうなんですわねえ」と気の無い相槌を打たれる。「いよいよもって還暦で」と続けると、「えっ！か、還暦？？」と仰天される。きつと私のことを、七十二歳になるものだと決めているのだ。



見世 広場 工房
SHOP PLAZA LABO

画廊 市場
GALLERY MARKET

作り手と使い手を結ぶ工芸の森
方円館



〒479-0003 愛知県常滑市金山字上砂原123 とこなめ焼卸団地
TEL0569-43-7101 FAX0569-43-7104
HP:http://www.hoenkan.com
E-mail:hoenkan@ceramall.or.jp

Cafe

建築・民家再生

Shop

Gallery

家具工房

ハク タケ モク ザイ
白竹木材(株)

〒447-0863 Email.hakutake@katch.ne.jp
碧南市新川町6丁目8番地 TEL.0566-42-3266

電動ロクロコースもあります。親切、丁寧に指導いたします。



まるふく

◎大駐車場完備

〒479-0832 愛知県常滑市原松町6丁目66番地の1
TEL(0569)35-2209 FAX(0569)34-5745
●年中無休 ●営業時間 AM9:00~PM5:00

【施設のご案内】
まるふく
1F●やきもの展示即売
2F●110名の陶芸教室
●電動ロクロコース 絵付け 手ひねり等

ろうけつ技法を中心に、染色の基礎を指導します

草木染 藍染 化学染

あわらさん

西尾市中畑町西側15 TEL:0563-59-6624

Quality Foods

イシハラフードは お客様と共に
「安心」「安全」「おいしさ」を食品を通して考えています。



確かな味、信頼の品質、地元商品の育成。

わたしたちには「こだわりの商品」がたくさんあります。(株)イシハラフード・常滑店 ☎(0569)35-5355 正月は1月1日より営業いたします。

ジェム電子水を使った手作りパン&クッキーの店



パン工房 GRANPLAN

恒例の白老 酒蔵開放のご案内

酒蔵弁当好評受付中 古式伝承 白老

日時/2月24日(土)2月25日(日)午前10時~午後3時

入場料500円(お土産付き) 名鉄常滑駅より無料送迎シャトルバスあり 詳細は http://www.hakurou.com

特報 ゆっくりお買い物したい方のために
先取販売デー 23日(金)午後1時~午後3時

*23日は入場無料ですが、お土産、展示、見学、横口搾りたての試飲、送迎バスなどはありません。

澤田酒造株式会社 常滑市古場町4丁目10番地 TEL0569-35-4003

手造り陶雛大展示中



二階ギャラリーは陶雛でいっぱい。ぜひ、ご覧ください。3日から営業します。

花器専科 **やまもと**

〒479-0003 常滑市金山字上砂原105番地 とこなめ焼卸団地セラモール
TEL (0569)43-7181 FAX (0569)43-7191 営業時間 AM10:00~PM5:00

楽しい旅のパートナー

(株)名鉄知多バス旅行

会員募集 かもめツアー

かもめツアーセンター ☎0569-24-3337 ☎0569-21-5230
半田市広小路町150番地-6



知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

(有)知多エッグ
知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

2018 蔵開き

おのび

■入場無料 ■開場 9:30~15:00
名鉄 常滑駅より無料の送迎シャトルバスがあります。(受付開始9:00)

2018年 2/11 日曜日

■盛田(株)小鈴谷工場にて開催

職人の花田優一さん来場。共同開発した酒のお披露目、トークショーも開催
お問い合わせ 0569-37-0511 (9:00-16:30)

盛田株式会社 小鈴谷工場 愛知県常滑市小鈴谷字亀戸21番地の1

1886年創業。地域とともに130年。

半田中央印刷のトータルソリューション 印刷の枠を越え、総合的な「価値」をご提供します。

クリエイティブ デジタル 空間 印刷 マーケティング 経営コンサル

P.T.C. GROUP 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
半田中央印刷株式会社 TEL.0569-29-2525(代) FAX.0569-29-4500

納経帳をはじめ、弘法参りの関連書籍を販売しています。お電話にてお問い合わせください。

美の回廊 Vol.31

水野 伊津子 「長沢芦雪について」

戊年です。戊といえばこの作家長沢芦雪について皆様は見に行かれましたでしょうか？ 円山応挙の高弟にして稀代の絵師と称される長沢芦雪が今までにない規模で愛知県美術館で開催されました。

長沢 芦雪

宝暦4年(1754年) - 寛政11年6月8日(1799年7月10日)江戸時代の絵師。円山応挙の高弟。長沢蘆雪、長澤蘆雪とも表記される。名は、政勝、魚。字は氷計、引裾。通称、主計。芦雪の他、別号に干洲漁者、千組なども用いた。円山応挙の弟子で、師とは対照的に、大胆な構図、斬新なクローズアップを用い、奇抜で機知に富んだ画風を展開した「奇想の絵師」の一人。その絵は伝えられる性格そのままに、自由奔放、奇抜なもので同時代の曾我蕭白、伊藤若冲とともに「奇想の画家」と呼ばれる。

むつかしいことは専門書に任せて 感想からいうと、わかりやすい! 可愛い! 面白い! この画家は描くときにこの絵を見る人間のことを考えている。つまり、エンターテインメント性を強く打ち出していることです。いまでは普通に使われるデフォルメ(一部分を強調する)の手法を用いたり、大きなものと小さなものの対比を描いたり、3D眼鏡をかけたように見える構図をとったりしています。

江戸時代にこんなおもしろいことを描いている画家は、当時からすれば風当たりはかなりのようであらう。応挙の弟子から独立した後、悪評、異常な行動の逸話。果ては毒殺とも自殺とも、真実はわからないようです。

この展覧会の見どころは

①和歌山県串本町にある無量寺の再現展示の素晴らしき

龍図襖 六面 紙本墨画 天明6年(1786)

虎図襖 六面 紙本墨画 天明6年(1786)

無量寺にあるとおりに対面展示してあってこの間に立つと竜と虎にはさまれてすごい迫力です

②プライスコレクションから 貴重な展示

白象黒牛図屏風 六曲一双 紙本墨画 寛政後期(1794-99)頃 エツコ&ジョー・プライスコレクション

この人の名は、ここへ出すのは2度目です。伊藤若冲コレクション *ジョー・プライス 彼は江戸時代の日本画コレクターですが、ニューヨークの古美術展で出会った若冲の葡萄酒からほとんど無名だった日本画家を発掘。

話がそれました、白象と黒牛の堂々たる対比 画面からはみ出すようです。そして、白象の上には、真黒なおしゃべりカラス2羽。黒牛の足元には小さな子犬がお座りしています。

③なんといっても子犬 子犬また 子犬 後姿、お座り、遊び、こんな絵の描ける人はいい人に違いない。降雪狗児図

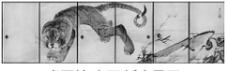
④仕掛け 彼はただ絵を描くだけでなく、仕掛けをたくさん仕込んでいました。例えば ③の「黒い犬と雪」では、黒と犬の漢字、そして雪が降る。で「黙」を表していたり、①の虎のふすまの裏側の絵は、猫が魚を取ろうとされていて、裏を返せば、虎も猫に似たりという風刺を効かせていたりしています。何を描いてもうまい人だなあ。

技巧を見せつけるでなく、技量で余裕をもって筆を走らせる達人ぶりがうらやましい。好きなものを好きなように描く。余分な力を抜いて生きられたら我々も楽だろうに。画家の端くれです。絵の紹介。

12/4.5 中日新聞主催 「郷土の美術家100人展」 マツザカヤホールに出品した油絵 F6 「微笑」水野伊津子



龍図襖 六面 紙本墨画



虎図襖 六面 紙本墨画



白象黒牛図屏風 六曲一双 紙本墨画



黒牛 子犬



黒牛 子犬



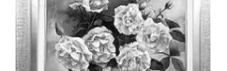
黒牛 子犬



黒牛 子犬



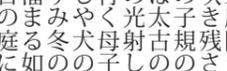
黒牛 子犬



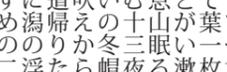
黒牛 子犬



黒牛 子犬



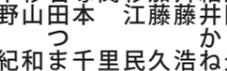
黒牛 子犬



黒牛 子犬



黒牛 子犬



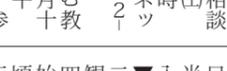
黒牛 子犬



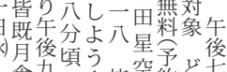
黒牛 子犬



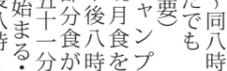
黒牛 子犬



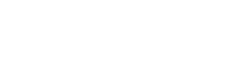
黒牛 子犬



黒牛 子犬



黒牛 子犬



黒牛 子犬



わが家の水槽は、住みやすい

近くを流れる川を橋の上から見れば、メダカらしいものが、カメの近くで、おゆうぎらしきことをしているのを見るのがあり、その「ヨシノ捕ったれ」と、車に用意してあるタモを取出して、ヨイショノとすくい取れば、ナンジャノカダヤシじゃないか、

メダカとカダヤシは、上から見れば、両者そっくり。特に川を泳いでいる両者は区別がつかないというのが本音ではないだろうか。事実、上に載せたメダカの写真も、横から背びれ、腹びれを見せない限り、本当にメダカか?と言われなくても仕方ないナと言いつことになる。



私、初めておばあちゃんに会った時、パパに抱っこされてモデルポーズしたの。そして、1才の頃にはお風呂の栓を抜いてしまっ、パパをビックリさせちゃったわ。生まれた時から笑顔も素敵だったのよ。私の笑顔で周りの皆を幸せにしたいの。「あなたの笑顔は素敵ね!!」この子の笑顔を見ていると癒されるなあ、と、皆に褒められるのよ。笑顔って素敵ね、思ってたわ。

知多の動植物雑記(三五二)

原 穰

謹賀新年。今年も亦、幸い多き年で有らんことをお願いする。

と、最近、その生息が不安定となったメダカの事であるが、去年の半ば頃、ある新聞記事に「メダカすみにくい時代」のテーマで書かれていたのは、「日

本各地で三千を超える呼び名があり、童謡「めだかの学校」に歌われるほど、身近にいました。」

事実、「メダカの学校」の歌は「メダカの学校は、川の中、そと、のぞいて見てごらん、みんな、おゆうぎしているよ」であるが、

となった次第。カダヤシは、言うまでもなく、川の上から見れば、メダカにそっくり。北アメリカ原産で、蚊の幼虫をよく食べるので、力を除去するために、一九一三年に日本へ移入し、関東より西の地方で繁殖に成功し、「蚊絶やし」の名が付けられたもの、今や繁殖しすぎてメダカを駆逐してしまっている次第である。

私、初めておばあちゃんに会った時、パパに抱っこされてモデルポーズしたの。そして、1才の頃にはお風呂の栓を抜いてしまっ、パパをビックリさせちゃったわ。生まれた時から笑顔も素敵だったのよ。私の笑顔で周りの皆を幸せにしたいの。「あなたの笑顔は素敵ね!!」この子の笑顔を見ていると癒されるなあ、と、皆に褒められるのよ。笑顔って素敵ね、思ってたわ。



若竹俳壇

黄落や天地すつかり入れ替わる
二度三度聞き返してや木の葉髪
横に吹き残されて一枚の葉石忌
噴煙の古規のおと息山眠る
月光の光射し込む十三夜
街を行く母子揃いの冬帽子
写経すみ冬の坂道帰るためゆ
吹き溜まる如く湯帰るためゆ
小春の庭にすずめの二羽三羽
日本晴久方ぶりに蒲団干す
着流しの鶴心よけわしと年おくる
毛糸編む心の道に大鳥居
小春の潮干の道に大鳥居
元氣だと書ける幸せ年賀状かな
おでん煮て妻とふたり月夜
友と会ひ相撲甚句に向い風かな
お春の相撲甚句に向い風かな
ハセの相撲甚句に向い風かな
照り映えて真つ赤なるは紅葉かな
吹く風の吹く真つ赤なるは紅葉かな
信州の美味な餅を食うかな
忘れたる事ばかりかぬかな
焼酎の肴は好物かぬかな
休みの隙の間は水が溜るかな
冬の日影の庭より水が溜るかな
願ひの多き初詣

いを作ります。材料費
一枚 六百元
▼草木染め草木の色を染めよう(二十日) 午前九時~午後四時 内容 草木の色で染めます。材料費一枚四百円 ※限定30枚
▼ファミリー劇場チケット発売(二日) 午前九時~午後四時 内容 午後二時半、二部 午後一時半、二部 パーティ&マジカルパフォーマンスショー 入場料 三百円(満二歳以上) 全自由席 発売日 六日(日) 午前九時~午後五時 発売場 所 こと未来館 六日(日)のみふれあいプラザでも発売します 電話予約不可

▼武豊町立図書館 武豊町立図書館 展示(八日) 午後一時半~午後四時 内容 本「ハッピーパックス」(年齢別にいろいろなテーマの本が入った福袋の貸し出し) 五日(日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十二日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十三日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十四日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十五日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十六日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十七日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十八日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十二日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十三日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十四日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十五日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十六日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十七日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十八日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(三十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(三十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示

▼お正月遊びをしよう 武豊町立図書館 展示(八日) 午後一時半~午後四時 内容 本「ハッピーパックス」(年齢別にいろいろなテーマの本が入った福袋の貸し出し) 五日(日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十二日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十三日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十四日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十五日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十六日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十七日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十八日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十二日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十三日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十四日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十五日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十六日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十七日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十八日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(三十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(三十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示

▼お正月遊びをしよう 武豊町立図書館 展示(八日) 午後一時半~午後四時 内容 本「ハッピーパックス」(年齢別にいろいろなテーマの本が入った福袋の貸し出し) 五日(日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十二日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十三日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十四日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十五日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十六日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十七日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十八日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(十九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十二日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十三日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十四日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十五日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十六日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十七日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十八日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(二十九日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(三十日) 午後一時半~午後四時 内容 展示(三十一日) 午後一時半~午後四時 内容 展示

